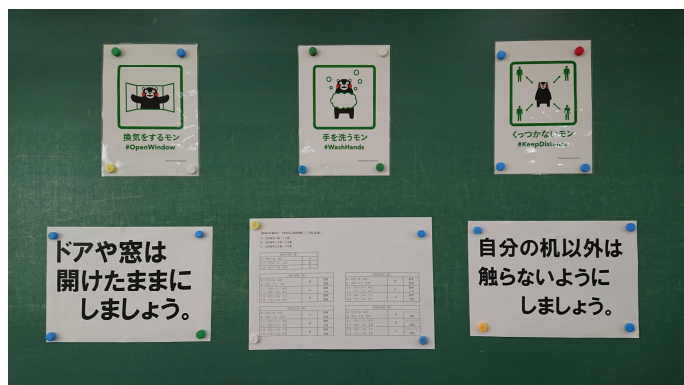




昨日は2年生の登校日でした。すでにクラス分けの発表はされていたものの、実際に学級の友だちと会うのは昨日が初めて。久々に会う友だちの顔を見て、みんなの顔がほころんでいたように思いました。開放した窓から5月のさわやかな風が吹いてきて、少人数の教室はおだやかでした。学校ってこんなによいものだったのかと改めて感じました。

ひとクラス12人の分散登校、ろうかには消毒液を配置し、ひとつのグループが下校するごとに、すべての机とイスを除菌するなど、学校がクラスター（感染集団）にならないよう万全の体制とっています。このような状態はしばらく続くと思いますが、いまは「新しい生活様式」をうけいれて、あと少しがんばらなければならないように思います。しんどいことですがひとりではない、助けてくれる友だちがいて、アドバイスをくれる先生たちがいます。ともにがんばりましょう。



さて、昨日の登校日には新たな宿題（5／31までのもの）が出されました。「また宿題？」という声も聞こえてきそうですが、出された宿題はしっかりやりとげてください。というのも、もはやここまでくれば「やらされる宿題」というよりも、ここまで身に付けておかなければならない学力の確認という意味があります。このことは、これから始まる2年生の学習に耐えうる学力の基礎になるものでもあります。ですから、しっかりやりとげおくべきものです。2年生のスタートラインに着くための準備運動だと考えてください。しっかり体をほぐしておかなければ、ついて行けないですね。

そして、もっと欲をいえば「自分で学習する態度」というものも身に付けてほしいと思うのです。宿題をやっていて疑問に感じたことを調べてみると、そこから新たな知識を学ぶことができます。「やらされている」と感じる学習はあまり定着しないかもしれませんが、自分ですすんでおこなう学習は、しっかり血となり肉となるのです。みなさんがいろいろ調べたり考えた、「自主学习」の成果を見せてもらえることも楽しみです。